



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月6日

上場会社名 マツダ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7261 URL <http://www.mazda.com/ja/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸本 明
 問合せ先責任者(役職名) 財務本部 経理部長 (氏名) 竹多 政博 (TEL) 082-282-1111
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,622,558	2.9	59,560	△44.4	85,410	△36.7	37,045	△56.4
2018年3月期第3四半期	2,547,928	8.5	107,120	5.1	134,842	14.3	84,907	6.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 32,392百万円(△69.8%) 2018年3月期第3四半期 107,233百万円(46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	58.82	58.81
2018年3月期第3四半期	139.79	139.77

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,763,357	1,229,278	43.4
2018年3月期	2,724,092	1,219,470	43.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,199,882百万円 2018年3月期 1,192,925百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2019年3月期	—	15.00	—		
2019年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550,000	2.2	80,000	△45.4	110,000	△36.1	55,000	△50.9	87.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)13ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	631,803,979株	2018年3月期	631,803,979株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,043,642株	2018年3月期	2,057,633株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	629,757,266株	2018年3月期3Q	607,396,433株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
(会計方針の変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	14
(重要な後発事象)	14

※ 参考資料 2019年3月期 第3四半期 決算参考資料 (連結)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、当期を最終年度とする中期経営計画「構造改革ステージ2」（2017年3月期～2019年3月期）の下、「走る喜び」と「優れた環境・安全性能」を両立する魅力ある商品をお届けするとともに、全領域でビジネスの質的成長を目指し、ブランド価値のさらなる向上に向けて取り組んでおります。

当第3四半期連結会計期間においては、「マツダ CX-5」と「マツダ CX-8」の商品改良モデルを日本市場に導入しました。「CX-5」は、当社の日本国内向け車種として初めて2.5L直列4気筒直噴ガソリンターボエンジン「SKYACTIV-G 2.5T」を設定し、力強く上質な走りを実現しました。「CX-8」では、「SKYACTIV-G 2.5T」と自然吸気の2.5L直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 2.5」の2種類のガソリンエンジンを新たに設定し、お客さまの多様なニーズに応えるエンジンラインアップとしております。技術面では、新世代車両運動制御技術「スカイアクティブ ビークル ダイナミクス」の第二弾として、「G-ベクタリング コントロール プラス（以下、GVC プラス）」を開発し、「CX-5」と「CX-8」の商品改良モデルに搭載しました。GVC プラスは、ハンドルを切った際の制御に加え、新たにハンドルを戻す際の制御を追加し、高速走行時の車線変更や滑りやすい路面環境においても安心感の高い動きを実現しています。

[グローバル販売]

当第3四半期連結累計期間のグローバル販売台数は、日本及びタイやベトナム等のアセアン地域での販売が増加した一方で、景気減速による販売環境の悪化で中国の販売が大幅に減少したこと等により、前年同期比1.4%減の1,170千台となりました。車種別では、「CX-5」や「CX-8」等のクロスオーバー系車種の販売が引き続き好調に推移しております。

市場別の販売台数は、次のとおりです。

<日本>

昨年11月に導入した「CX-5」と「CX-8」の商品改良モデルが販売を牽引したこと等により、前年同期比7.4%増の150千台となりました。導入以来順調な販売が続く「CX-8」は、「2018-2019日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞しております。

<北米>

米国は、「CX-5」等のクロスオーバー系車種の販売が引き続き堅調であった一方で、需要の縮小が続くセダン系車種の販売が減少したことにより、前年同期比1.8%減の216千台となりました。北米全体では、「Mazda2」の販売が好調なメキシコで台数が増加したこと等により、前年同水準の320千台となりました。

<欧州>

ドイツの販売が減少したものの、ロシアの販売台数は需要の伸びを上回る大幅な増加となったほか、英国やスペインでも台数が増加したこと等により、前年同期比1.9%増の196千台となりました。車種別では、「Mazda2」と「CX-5」の販売が好調に推移しております。

<中国>

景気減速による販売環境の悪化等により、主要車種である「Mazda3」を中心に販売台数が大幅に減少したことから、前年同期比20.5%減の195千台となりました。

<その他の市場>

主要市場であるオーストラリアは、他社との競合激化等により前年同期比5.1%減の82千台となりましたが、タイやベトナムの販売が好調なアセアン地域で前年を大きく上回る販売となったこと等により、その他市場全体では前年同期比7.4%増の309千台となりました。

〔経営成績〕

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、出荷台数の増加等により、2兆6,226億円(前年同期比746億円増、2.9%増)となりました。営業利益は、出荷台数の増加やコスト改善活動の効果の一方で、競合激化による販売費用の増加や為替影響等により、596億円(前年同期比475億円減、44.4%減)、経常利益は、持分法による投資利益273億円を計上したことから854億円(前年同期比494億円減、36.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用403億円等により、370億円(前年同期比479億円減、56.4%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

日本は売上高が2兆1,481億円(前年同期比514億円増、2.4%増)、セグメント別営業利益(以下、営業利益)は151億円(前年同期比539億円減、78.1%減)となりました。北米は売上高が1兆153億円(前年同期比151億円減、1.5%減)、営業利益は287億円(前年同期比131億円増、83.9%増)、欧州は売上高が5,279億円(前年同期比33億円増、0.6%増)、営業利益は102億円(前年同期比42億円増、70.0%増)、その他の地域は売上高が5,375億円(前年同期比394億円増、7.9%増)、営業利益は162億円(前年同期比30億円減、15.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より393億円増加し、2兆7,634億円となり、負債合計は、前連結会計年度末より295億円増加し、1兆5,341億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末より624億円増加し、5,603億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益370億円に対し、配当金の支払220億円等により、前連結会計年度末より98億円増加し、1兆2,293億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.4ポイント減少し、43.4%(劣後特約付ローンの資本性考慮後44.7%)となりました。

なお、「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、資産、負債及び純資産の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末において、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より304億円増加の6,353億円、有利子負債は、前連結会計年度末より624億円増加の5,603億円となり、この結果、750億円のネット・キャッシュ・ポジションとなっております。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益798億円に対し、たな卸資産の増加による運転資金の増加等により、645億円の増加(前年同期は1,153億円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出715億円等により、693億円の減少(前年同期は1,249億円の減少)となりました。

以上により、連結フリー・キャッシュ・フロー(営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計)は、47億円の減少(前年同期は97億円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、設備投資等を目的とした長期借入金の調達に対し、長期借入金の返済や配当金の支払等により、383億円の増加(前年同期は533億円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2018年10月31日に公表しました業績予想を下記へと修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表しました「2019年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

連結業績及びグローバル販売台数の見通し（2018年4月1日～2019年3月31日）

連結業績		(単位：億円)		グローバル販売台数		(単位：千台)	
		通期	前期比			通期	前期比
売上高		35,500	2.2%	日 本		217	3.2%
営業利益		800	△45.4%	北 米		428	△1.7%
経常利益		1,100	△36.1%	欧 州		270	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益		550	△50.9%	中 国		250	△22.5%
為替レート (円)	USドル	111	+0	その他		405	2.7%
	ユーロ	128	△1	合 計		1,569	△3.8%

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を行うことは控えるようお願いいたします。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	395,863	442,466
受取手形及び売掛金	221,532	178,980
有価証券	219,300	193,800
たな卸資産	399,787	442,038
その他	125,956	155,178
貸倒引当金	△1,028	△954
流動資産合計	1,361,410	1,411,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	196,806	193,939
機械装置及び運搬具（純額）	268,861	275,747
土地	406,117	404,844
リース資産（純額）	5,752	4,790
その他（純額）	93,886	103,089
有形固定資産合計	971,422	982,409
無形固定資産	35,862	35,712
投資その他の資産		
投資有価証券	210,605	198,390
退職給付に係る資産	3,798	4,115
その他	141,665	131,891
貸倒引当金	△670	△668
投資その他の資産合計	355,398	333,728
固定資産合計	1,362,682	1,351,849
資産合計	2,724,092	2,763,357

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,589	412,902
短期借入金	101,844	103,612
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	74,121	28,270
リース債務	2,420	2,253
未払法人税等	15,567	14,190
未払費用	203,396	199,936
製品保証引当金	104,435	97,389
その他	76,892	68,565
流動負債合計	996,264	947,117
固定負債		
社債	50,000	30,000
長期借入金	265,653	373,207
リース債務	3,855	2,965
再評価に係る繰延税金負債	64,553	64,553
関係会社事業損失引当金	821	922
退職給付に係る負債	67,287	59,920
その他	56,189	55,395
固定負債合計	508,358	586,962
負債合計	1,504,622	1,534,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	283,957	283,957
資本剰余金	264,910	264,913
利益剰余金	536,856	551,406
自己株式	△2,230	△2,215
株主資本合計	1,083,493	1,098,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,786	3,799
繰延ヘッジ損益	305	995
土地再評価差額金	145,574	145,574
為替換算調整勘定	△28,576	△33,708
退職給付に係る調整累計額	△16,657	△14,839
その他の包括利益累計額合計	109,432	101,821
新株予約権	183	255
非支配株主持分	26,362	29,141
純資産合計	1,219,470	1,229,278
負債純資産合計	2,724,092	2,763,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	2,547,928	2,622,558
売上原価	1,945,588	2,049,611
売上総利益	602,340	572,947
販売費及び一般管理費	495,220	513,387
営業利益	107,120	59,560
営業外収益		
受取利息	2,662	3,529
持分法による投資利益	26,566	27,257
為替差益	3,311	—
その他	5,117	5,551
営業外収益合計	37,656	36,337
営業外費用		
支払利息	5,599	4,557
為替差損	—	2,128
その他	4,335	3,802
営業外費用合計	9,934	10,487
経常利益	134,842	85,410
特別利益		
固定資産売却益	838	471
投資有価証券売却益	321	1,729
その他	11	26
特別利益合計	1,170	2,226
特別損失		
固定資産除売却損	2,326	3,339
減損損失	1,151	650
災害による損失	—	3,726
関係会社事業損失引当金繰入額	100	101
訴訟和解金	7,539	—
その他	121	—
特別損失合計	11,237	7,816
税金等調整前四半期純利益	124,775	79,820
法人税、住民税及び事業税	24,772	23,601
法人税等調整額	13,503	16,731
法人税等合計	38,275	40,332
四半期純利益	86,500	39,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,593	2,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,907	37,045

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	86,500	39,488
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,075	△4,993
繰延ヘッジ損益	△1,370	711
為替換算調整勘定	8,979	△2,950
退職給付に係る調整額	1,971	1,794
持分法適用会社に対する持分相当額	3,078	△1,658
その他の包括利益合計	20,733	△7,096
四半期包括利益	107,233	32,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,110	29,434
非支配株主に係る四半期包括利益	2,123	2,958

第3四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	891,301	893,470
売上原価	682,329	696,297
売上総利益	208,972	197,173
販売費及び一般管理費	178,332	168,485
営業利益	30,640	28,688
営業外収益		
受取利息	903	1,295
持分法による投資利益	9,203	8,017
その他	2,340	1,422
営業外収益合計	12,446	10,734
営業外費用		
支払利息	1,807	1,382
為替差損	1,843	5,727
その他	1,059	1,424
営業外費用合計	4,709	8,533
経常利益	38,377	30,889
特別利益		
固定資産売却益	16	443
投資有価証券売却益	256	—
その他	17	24
特別利益合計	289	467
特別損失		
固定資産除売却損	1,222	1,312
減損損失	49	216
関係会社事業損失引当金繰入額	39	—
その他	1	—
特別損失合計	1,311	1,528
税金等調整前四半期純利益	37,355	29,828
法人税、住民税及び事業税	5,027	4,746
法人税等調整額	10,449	11,831
法人税等合計	15,476	16,577
四半期純利益	21,879	13,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	310	583
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,569	12,668

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	21,879	13,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,949	△5,364
繰延ヘッジ損益	938	1,379
為替換算調整勘定	3,054	△7,351
退職給付に係る調整額	677	847
持分法適用会社に対する持分相当額	2,994	2,172
その他の包括利益合計	14,612	△8,317
四半期包括利益	36,491	4,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,877	4,737
非支配株主に係る四半期包括利益	614	197

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	124,775	79,820
減価償却費	64,783	66,716
減損損失	1,151	650
貸倒引当金の増減額(△は減少)	94	△92
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△15,331	△7,046
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	100	101
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,150	△4,769
受取利息及び受取配当金	△3,038	△4,778
支払利息	5,599	4,557
持分法による投資損益(△は益)	△26,566	△27,257
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,488	2,847
投資有価証券売却損益(△は益)	△303	△1,729
売上債権の増減額(△は増加)	6,158	43,536
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39,452	△47,965
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,612	△19,658
仕入債務の増減額(△は減少)	10,643	△4,053
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,918	△456
その他	△3,454	△12,756
小計	114,803	67,668
利息及び配当金の受取額	33,759	32,801
利息の支払額	△6,124	△4,216
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△27,157	△31,725
営業活動によるキャッシュ・フロー	115,281	64,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△219	9,317
投資有価証券の取得による支出	△50,577	△8
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,591	2,711
有形固定資産の取得による支出	△67,997	△71,547
有形固定資産の売却による収入	3,026	2,616
無形固定資産の取得による支出	△8,097	△7,235
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△149	6
長期貸付けによる支出	△152	△4,241
長期貸付金の回収による収入	161	204
その他	△2,522	△1,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,935	△69,276

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△7,865	3,304
長期借入れによる収入	82,095	123,740
長期借入金の返済による支出	△78,031	△64,928
社債の発行による収入	29,863	—
株式の発行による収入	49,780	—
セール・アンド・リースバックによる収入	171	341
リース債務の返済による支出	△1,688	△1,993
配当金の支払額	△20,923	△22,041
非支配株主への配当金の支払額	△125	△154
自己株式の純増減額 (△は増加)	3	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,280	38,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,393	△3,117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	53,019	30,422
現金及び現金同等物の期首残高	526,864	604,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	579,883	635,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

IFRS(国際財務報告基準)を適用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、IFRS第15号(顧客との契約から生じる収益)を適用しております。なお、当該会計基準の適用が当社グループの連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

「税効果会計に係る会計基準の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	740,445	848,540	512,074	446,869	2,547,928	—	2,547,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,356,284	181,836	12,568	51,268	1,601,956	△1,601,956	—
計	2,096,729	1,030,376	524,642	498,137	4,149,884	△1,601,956	2,547,928
セグメント利益	69,002	15,627	6,016	19,150	109,795	△2,675	107,120

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	797,156	835,498	510,394	479,510	2,622,558	—	2,622,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,350,929	179,773	17,510	57,991	1,606,203	△1,606,203	—
計	2,148,085	1,015,271	527,904	537,501	4,228,761	△1,606,203	2,622,558
セグメント利益	15,140	28,741	10,230	16,168	70,279	△10,719	59,560

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2019年3月期 第3四半期 決算参考資料 (連結)

2019年2月6日
マツダ株式会社
(単位:千台/億円)

(左肩:売上高利益率)			2018年3月期 第3四半期累計 ('17.4~'17.12)		2019年3月期 第3四半期累計 ('18.4~'18.12)			2018年3月期 通期 ('17.4~'18.3)		2019年3月期 通期予想 ('18.4~'19.3)				
			第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	%	%				
売上高	国内	1	4,270	+9.4	1,592	1,714	1,582	4,888	+14.5	6,312	+7.5	6,900	+9.3	
	海外	2	21,209	+8.3	7,139	6,846	7,353	21,338	+0.6	28,428	+8.2	28,600	+0.6	
	計	3	25,479	+8.5	8,731	8,560	8,935	26,226	+2.9	34,740	+8.1	35,500	+2.2	
営業利益		4	4.2%	+5.1	3.8%	△0.3%	3.2%	2.3%	△44.4	4.2%	+16.5	2.3%	800	△45.4
経常利益		5	5.3%	+14.3	4.9%	1.4%	3.5%	3.3%	△36.7	5.0%	+23.4	3.1%	1,100	△36.1
税引前四半期(当期)純利益		6	4.9%	+12.7	4.9%	0.8%	3.3%	3.0%	△36.0	4.5%	+22.6	2.7%	970	△38.4
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		7	3.3%	+6.2	2.4%	0.4%	1.4%	1.4%	△56.4	3.2%	+19.5	1.5%	550	△50.9
セグメント(所在地)別営業利益														
日本		8	690		72	△272	351	151		816				
北米		9	156		131	98	58	287		270				
欧州		10	60		18	43	41	102		87				
その他の地域		11	192		58	63	41	162		254				
営業利益変動要因														
台数・車種構成		12			△60	△105	△55	△220				△146		
為替		13			△25	△62	△125	△212				△374		
コスト改善		14			+66	+51	+66	+183				+182		
研究開発費		15			+17	+5	△37	△15				△20		
その他		16			△66	△277	+132	△211				△306		
計		17			△68	△388	△19	△475				△664		
為替レート(円)														
USドル		18	112		109	111	113	111		111		111		
ユーロ		19	129		130	130	129	129		130		128		
設備投資		20	664		161	217	284	662		1,041		1,200		
減価償却費		21	648		217	219	231	667		870		900		
研究開発費		22	972		334	301	352	987		1,360		1,380		
総資産		23	26,960		27,857	27,448		27,634		27,241				
自己資本		24	11,736		11,991	12,046		11,999		11,929				
有利子負債残高		25	5,242		5,599	5,589		5,603		4,979				
ネット・キャッシュ		26	557		763	1,154		750		1,070				
フリー・キャッシュ・フロー		27	△97		△160	372	△259	△47		478				
グローバル販売台数	日本	28	139	+5.3	49	54	47	150	+7.4	210	+3.8	217	+3.2	
	北米	29	321	△2.9	116	106	98	320	△0.4	435	+1.5	428	△1.7	
	欧州	30	193	+1.2	67	68	61	196	+1.9	269	+2.6	270	+0.4	
	中国	31	245	+7.8	68	65	62	195	△20.5	322	+10.5	250	△22.5	
	その他	32	288	+2.6	103	100	107	309	+7.4	394	+5.3	405	+2.7	
計	33	1,186	+2.1	403	392	374	1,170	△1.4	1,631	+4.6	1,569	△3.8		
連結出荷台数	日本	34	133	+5.5	49	52	46	147	+9.9	199	+3.2	212	+6.8	
	北米	35	319	△2.8	118	101	97	315	△1.2	423	△0.7	427	+0.8	
	欧州	36	197	+2.3	61	68	65	194	△1.7	266	+4.2	267	+0.5	
	その他	37	279	△1.8	98	97	112	307	+10.1	386	△1.4	411	+6.3	
	計	38	928	△0.3	325	318	320	962	+3.7	1,274	+0.7	1,317	+3.4	
グローバル生産台数	国内	39	730	+0.9	258	204	278	739	+1.3	987	+2.3	1,012	2.5	
	海外	40	470	+1.9	156	139	143	438	△6.8	633	+0.9			
	計	41	1,200	+1.3	414	343	421	1,178	△1.9	1,620	+1.7			

※ 総資産 : 「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を第1四半期連結会計期間から適用しており、2018年3月期の第3四半期及び通期の総資産については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

※ グローバル販売台数 : マツダブランド名で販売される全世界小売台数です。

※ 連結出荷台数 : 他社ブランドで販売される車両の台数を含めておりません。

※ グローバル生産台数 : 国内工場とメキシコ工場で生産される台数(他社ブランド含む)に加え、その他海外工場(主に中国、タイ)においてマツダブランド名で生産される台数です。